

AEON



株主の皆さまへ

第16期 期末 株主通信 2011.2.21 → 2012.2.20



株式会社イオンファンタジー

証券コード：4343

遊びを通じた子どもたちの健全な育成をめざし、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

当期の事業概況

当期は「客層に合わせた店舗別品揃えの推進」「新たなコンセプトのモデル店舗作り」「海外事業の積極拡大」「ファンタジースキッズガーデンのプログラム充実」に注力しました。

東日本大震災で一時的に109店舗が休業し、第1四半期の売上高は前年同期比5.6%減となりましたが、震災後「イオンファンタジーげんき！えがお！プロジェクト」と称し全社一丸となった被災店舗復興支援の取り組みが大きな力となり、5月度以降売上が回復しました。

下半期はカード部門とキッズメダル部門が売上に牽引、「ファンタジースキッズガーデン」強化策により幼児部門の売上も向上しました。この結果、当期の業績は売上高424億47百万円(前年同期比0.5%増)、経常利益36億31百万円(同39.6%増)、当期純利益16億84百万円(同34.1%増)と増収増益となりました。創立15周年および株式上場10周年である当期の1株あたりの配当金は普通配当30円に記念配当2円を加え、32円とさせていただきます。

海外事業の取り組み

海外事業において、中国では11月には深圳市に新洲店、12月には中山市に坦洲店の出店を行い、当期末にはイオンファンタジー北京の店舗数は5店舗となりました。また、マレーシアでは店舗数が20店舗に拡大しており、順調に成長しています。その中にはイオングループ外の物件も含まれています。

今後の方向性

当社は、イオンファンタジーブランドの確立・浸透をめざし、お子さまの健全な育成と楽しさを実現するため、独自の世界観(モーリーの世界観)を体現したおもてなしをお客さまに提供します。

次期はアジアで、「ファミリーエンターテインメント企業」としての、成長基盤を確立するため、そのステップとなる施策を実施してまいります。

国内は時間制遊具にエンターテインメント性を強化し、進化した「モーリーファンタジー」を出店していくほか、当期より継続して取り組んでいる都市化・シニア化(孫需要)対応モデルとして「ファンタジーアイランド」の確立をしてまいります。また、海外では中国において地元デベロッパーの商業施設への出店、マレーシアでは時間制遊具を拡大展開するとともに、新たにタイのプロジェクトを発足させ、事業化に向けて取り組んでまいります。

今後とも株主の皆さまの一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長

工谷 英津子

KEYWORD

海外事業の推進

中国とマレーシアで初めてイオン系以外のショッピングセンターに進出！

アジア各国で遊びのニーズが高まる中、さらに多店舗出店を加速させるため、中国、マレーシアの地元商業デベロッパーとのパートナーシップのもと、両国で初めてイオン系以外のショッピングセンターへの出店を果たしました。

中国では、広東省中山市に開店した大型ショッピングセンター「皇爵假日广场」に2011年12月31日に新規オープン。マレーシアでは、クアラルンプール市の大型ショッピングセンター「KLフェスティバルシティ」に2012年1月1日に新規オープンしました。

今後もお子さまとファミリーが安全・安心に楽しめるオンリーワン事業の強みを活かして多店舗化を推進し、「日本の遊び」を世界に広げていきます。



アジアで、子どもたちに「遊びの場」を提供し「すこやかな成長」をプロデュースします！

当社キャラクターの「啦啦」(ララちゃん)は中国でも大人気。店舗の「娃娃乐园」(わいわいぱーく)は、ララちゃんと一緒に踊りたい子どもたちで、いつも大賑わいです。

マレーシアにおいては、「ファンタジーキッズーナ」をオープン。快適な環境で、安全に子どもたちが遊べると大好評です。

今後とも、日本で人気の「イベントプログラム」や安全・安心のノウハウを海外でも展開して、中国、アセアン地域の子どものための「笑顔」と「すこやかな成長」のために、魅力的な「遊びの場」を提供してまいります。

マレーシア
ファンタジーキッズーナ



教育学博士

徳田 克己先生に聞く

SPECIAL



FEATURE



▶ 徳田先生プロフィール

筑波大学 医学医療系教授 教育学博士 臨床心理士

●専門は子育て支援学、保育臨床心理学、バリアフリー論、福祉心理学 ●アジア子ども支援学会常任理事、日本障害理解学会会長。2003年にアジア障害社会学会賞受賞 ●筑波大学生活支援学研究会での活動／育児や保育に関する保育者・保護者向け講演会、発達相談会、企業や自治体に対する障害者接客研修、障害理解、バリアフリー、統合保育、障害児保育、発達障害、看護士に対する心理学関係の講義 ●最近の主な著書／「親を感わす専門家の言葉」「おすすめします！育児の教科書「クレヨンしんちゃん」一生きる力を育むマンガの読ませ方」

■ 良質なものを

土谷社長：本日はよろしくお願ひ致します。最初にイオンファンタジーについての印象をお聞かせ下さい。

徳田先生：非常に機動性が高く、若いという印象があります。変化に対応しやすく、若い人が活躍している会社という印象です。市場で強い力を持つということは非常に重要です。子どもの育成において影響力のあるこちらの会社が、良いコンセプトを持って商品を生の中に送り出すことで日本全体が変わっていきます。また、イオンファンタジーからは「良質なものを作ろう」という目標を持ち、真剣に取り組んでいる気持ちが良いと伝わってくるのでお手伝いできるのが嬉しいです。海外について目を向けている点も非常に評価できます。イオンファンタジーという日本ブランドが海外に浸透していくことに関わってみたいです。

土谷社長：我々が変わるにより世の中も変わって行くという言葉

葉通りになりたいと考えています。海外においても保護者のお子さまへの愛情は非常に強いと感じます。どこの国に行っても日本の教育や子どもの育成には非常に興味を持って頂いており、海外展開によりお互いの良い所を広めていきたいと考えています。

■ できることをひとつずつ

土谷社長：東日本大震災が発生しましたが、環境の変化について、先生自身がお感じになられていることはありますか。

徳田先生：阪神大震災の時もそうでしたが、「人に尽くす」「ボランティアをする」という気持ちが日本人の中に残っていることを再認識できました。阪神大震災の時は募金、支援物資が中心でしたが、今回は被災範囲も広く、「自分には何が出来るのか」と実際に現地に行って支援をするボランティアがある一方、原発の問題もあり避難された方の受け入れボランティアなど実際に被災者の方々と関わり合い、考えていくという行動が目立っています。沖縄からも福島に行っている方がいて、日本中で支援しようという意識が高まっているのを実感しました。

土谷社長：実際にかかわりながら助け合うということが大事ですね。震災後、当社の支援活動としては「げんき！えがお！プロジェクト」ということで継続して色々取り組んでいます。

被災地では、避難所に避難していた従業員がララちゃんの着ぐるみをお店から持ってきて、避難所の子どもたちにララちゃんと触れ合うことで楽しませ、子どもたちの笑顔をもたらしたという出来事がありました。「これがうちの本分」かなと。今後も、ララちゃんが登場するイベントをやっていき、心が豊かになる活動をしていきます。

(株)イオンファンタジー
代表取締役社長
土谷 美津子

■ 親子の絆は世界共通

土谷社長：海外では、現在中国で5店舗、マレーシアで20店舗出店しております。マレーシアでもキッズーナが先日オープンして、大変なお客さまの賑わいで入場制限をしなければならぬほどの盛況となっています。海外での子ども・子育て環境や日本との違いは何かございますか。

徳田先生：先ほど、「海外は保護者のお子さまへの愛情が非常に強いと感じます。」とおっしゃいました。私もそう感じるのですが、恐らく愛情の出し方、表現の違いによるものではないかと。海外では非常にストレートに愛情表現します。フィリピンでは、歩いていると母親が「見て見て！私の子どもよ、可愛いでしょ！」と外国人である自分に紹介してくれる。写真を撮って可愛いねと言ってあげると、とても喜んでくれます。だからこそ、我々が子どもたちに何かできることはないかと考えます。

■ 心の支援の重要性

土谷社長：次に日本での子育て支援の状況をお聞かせ下さい。

徳田先生：本当に「心を支援する」ということが重要です。年間1,200件の相談を受けており、その7割が親からです。今の親はいくら裕福であっても、子育てに関して自信がなかったり迷いが多いんですよ。本来は自分の親や兄弟に相談できれば良いのですが、「専門家に相談したい」という声が多いです。電話相談窓口を設置している企業も出てきましたが、表面的な相談しか対応できておらず、専門的な窓口が必要だと考えます。また、同じ立場の仲間や先輩から実体験に基づいたアドバイス「こんなことあったけど、こうすればいいのよ」といった会話が大切です。

土谷社長：先輩ママから「こんなこと、よくあるわよ」と言ってもらうだけで違うんですね。

徳田先生：子育て支援施設のスタッフが悩んでいる母親に「実は私もこのタイプのお子さまをたくさん見てきたけど、もうちょっと頑張れば道が開けるよ。今まで触れ合ったお母さん達、みんなそうだったんだから」と言ってあげることでものすごく救われるのです。

土谷社長：そういう相談や会話ができる、ママさんが集まる場所が必要ですね。

■ お客さまにご満足頂くために

土谷社長：我々のスタッフも含めてそういうことを勉強していかねばいけないですね。まずは話しやすいスタッフになっていくこと、話しやすい場になっていくことが重要ですね。「本当に来て良かった」とお母さまに思ってもらえるような場所にしたいです。

徳田先生：これは理想なのですが、お子さまをお持ちのお母さまに子育てで悩みがあって、身近に相談する相手がいない時に、ちょっとした相談に乗ってあげたり、相談会をご案内できる「街の子育て支援スポット」的な施設を出して欲しいなと思っています。

土谷社長：お母さんの心がホッとした笑顔になる場所になればいいですね、そういうものを作っていきたいです。

徳田先生：何も専門家を雇わなくても、スタッフが研修を受け勉強していけばいいのです。相談を受けたスタッフがお母さんの気持ちになって答えてあげることが大事です。

土谷社長：スタッフが「徳田先生からの指導を受け勉強しました」という認定のようなものを受けられると良いかも知れません。受講する度にランクが上がるなど、学習したスタッフに自信を付けさせたいですね。現在、エンターテインメントについては社内認定制度がございます。このような認定制度を取り入れることも考えていきたいです。

徳田先生：それなら、どういう勉強をするのか必要な項目を考えて頂ければプログラム作りにも協力しますよ。私は心理学が専門ですが、スタッフには看護師や運動の専門家もいます。例えば、「施設で遊んでいる時の子どもの状態をみるにはどうすれば良いのか」ということなど、体育、知育、健康、心育といくつか

の分野で学習して知識を習得して認定を受ける。というやり方もあります。

土谷社長：それができるとスタッフにも励みになりますね、当社のスタッフには誇りを持って働いて欲しいと考えています。「子どもの専門家」の育成、新たな目標ができました。

教育学博士
徳田 克己先生

都市化・シニア化
モデル

ファンタジーアイランド
せんげん台店

時間制遊具▶



▲都市化・シニア化モデル

イクジー会員▶



「孫消費」のお客さまニーズに対応した新型店舗

1. 都市部でシニアの方がお孫さんと時間を共有できる
空間づくり

お孫さんが元気に遊び、一緒に思い出作りができるようお孫さんのニーズが高い時間制遊具や乗り物、カードゲームをコンパクトな売り場に凝縮。安全で安心して遊べる空間を演出いたします。

2. 話題の「イクジー会員」が大好評

イクメンの次は「イクジー」がトレンド。お孫さんと一緒にスタンプを集める「イクジー会員」制度を展開。おじいさん、おばあさんとお孫さんのふれあいの場を提供しています。

オリジナル商品
の導入

当社オリジナル
ゲーム機

イオンファンタジーの仲間たちがゲームになって登場！
ブランド力強化へ向け、モーリーファンタジーの世界観を
表現した機材の導入を行います。



キラキラ湖で
すくってちょ



モーリーひろばの
ボンボンバトル



ララちゃんといおくんの
ホッケーであそぼ！



パンピットのおかしがいっぱい

「げんき！えがお！プロジェクト」を展開

当社では、東日本大震災における支援活動として、「イオンファンタジー げんき！えがお！プロジェクト」と題し、被災後の子どもたちに「遊び」を通じて「笑顔」を取り戻すことを趣旨とした活動を展開いたしました。

主な活動としては、被災地における営業再開後の施設一部無料開放及び、当社キャラクター「ララちゃん」とスタッフによる避難所訪問活動、全国のお客さまから被災地の子どもたちに寄せ書きをいただいた「応援フラッグ」、[あそんで募金]及び、食品アレルギー対応食品の被災地への供給支援等を実施しました。



被災店舗以外のお客さまからの応援フラッグ



ファンタジーアイランド
気仙沼店

節電対策への取り組み



当社は、震災の影響による夏季電力不足への対策として、下記のとおり自主削減計画を策定、実施し、2012年2月期で電気使用量を11.1%削減しました。

- 店内基本照明を節電型蛍光灯に入れ替えました。
- 一部遊戯機械の照明の間引きを実施しました。
- 電力を使用しない室内公園遊具を拡大。また、被災地で公園などの屋外で遊びにくい状況となった地域において、電力を使用しない「ボールプール」や電力使用の少ない「エア―遊具」等の展開を拡大しました。
- 千葉県美浜区の本社事務所におけるサマータイム勤務、クールビズを実施しました。
- 全国324店舗(当時)に設置している自動販売機約400台の販売機内の照明を消灯しました。

全国の子どもたちから寄せられた気持ちを「東日本大震災支援活動」に寄付しました。

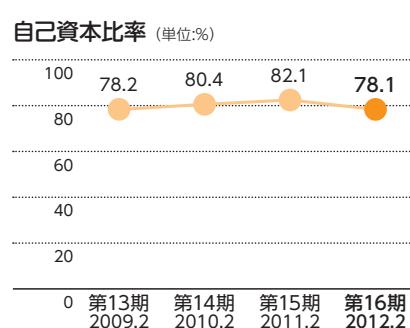
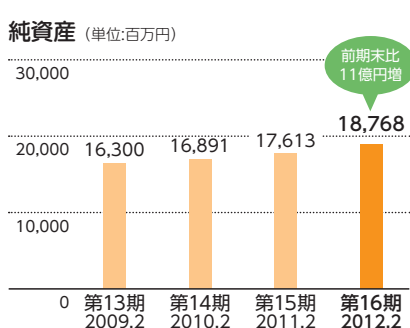
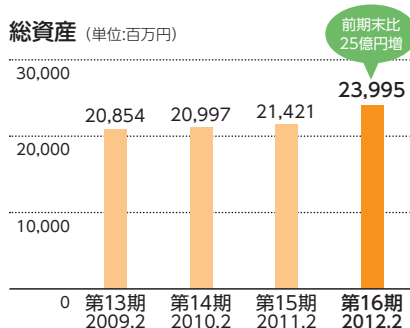
当社は、震災による営業停止を行わなかった214店舗において、乗り物1台の売上を被災地の子どもたちに贈る「あそんで募金」を2011年3月25日～同年4月10日の間実施しました。同取り組みにはお客さまやお子さまの大きなご賛同をいただき、その売上総額は714万3,900円にのびりました。

いただいた募金は、ユニセフ及び日本ユニセフ協会が被災地の子どもたちに向けて実施する「東日本大震災緊急支援活動」にお届けしました。また、キッズデザイン協議会に、カプセル1運動として寄付しました。

貸借対照表の概要

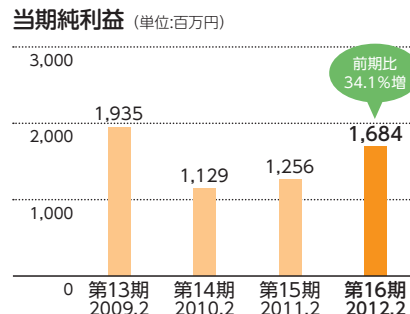
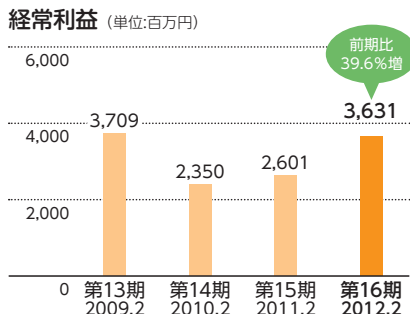
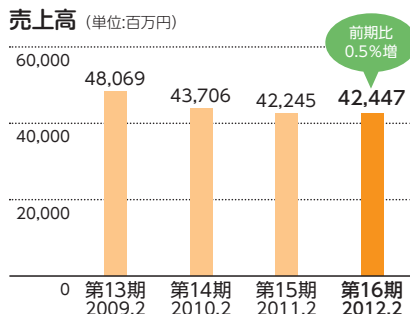
総資産は前期末と比べて25億74百万円増加し、239億95百万円となりました。これは株式及び出資金が15億26百万円増加し、現金及び預金が37億28百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は前期末と比べて11億54百万円増加し、187億68百万円となりました。これは、当期純利益16億84百万円の計上により増加し、配当金5億43百万円の支払いにより減少したこと等によるものであります。



損益計算書の概要

昨年の東日本大震災の影響により一時109店舗の休業を余儀なくされましたが、その後、迅速な営業再開を進めて、当社の企業理念に基づく取り組みが既存店の集客力につながりました。結果、売上高は前期と比べ202百万円の増加、経常利益は1,029百万円の増加となりました。



キャッシュ・フロー計算書の概要

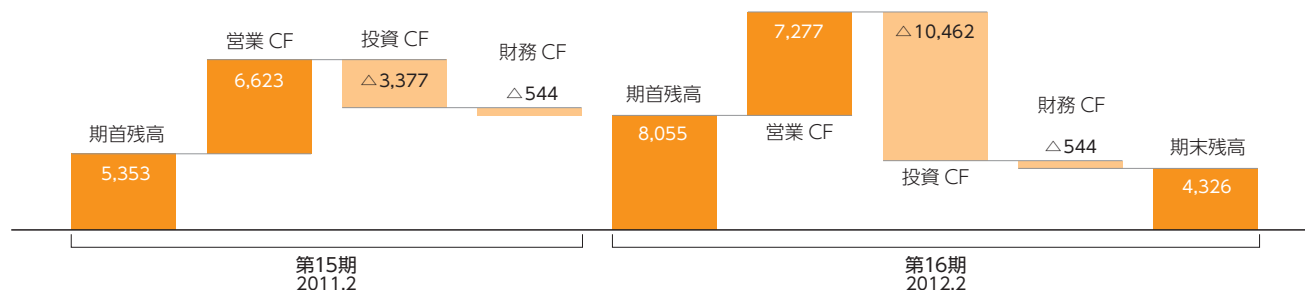
営業活動によるキャッシュ・フロー：税引前当期純利益33億87百万円及び減価償却費35億74百万円の計上、売上預け金8億78百万円の減少による資金の増加と、法人税等の支払12億69百万円による資金の減少であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー：有形固定資産取得に

よる支出31億82百万円及び関係会社寄託金の純増額60億円、関係会社株式及び関係会社出資金の支出15億26百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー：配当金の支払5億43百万円であります。

キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

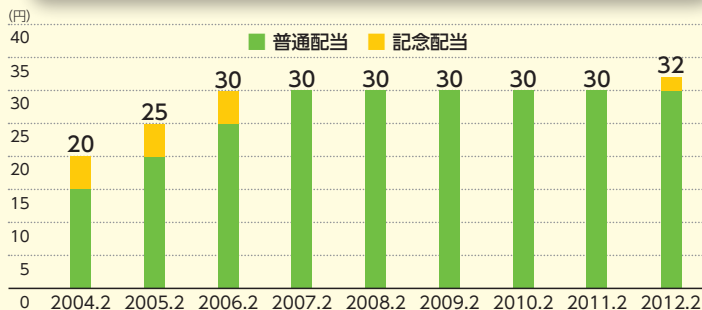


● 配当について

当社は、株主の皆さまへの安定的利益還元を経営目標のひとつとして位置づけております。内部留保の充実と財務体質の強化を図りつつ、業績、配当性向等を総合的に勘案して、株主の皆さまへの長期的、安定的な利益還元を心がけてまいります。

創立15周年および株式上場10周年である当期の配当金につきましては、1株につき普通配当30円に記念配当2円を加えた32円とさせていただきます。また、次期の配当金については、1株につき30円を予定しております。

2012年2月期 普通配当30円+記念配当2円



「モーリーファンタジー」の世界観を描いた絵本を発売しました。

当社は、'Let's! Entertainment' をスローガンに、エンターテインメントの推進を通じ、よりお客さま満足を向上させ、イオンファンタジーブランドの確立・浸透に注力することを大きな命題としております。

そのメッセージのひとつとして、当社オリジナルキャラクター「モーリーファンタジーのなかまたち」を当社の世界観として広く伝えるため、年間4回発刊予定の絵本の第一弾として、メインキャラクター「うらちゃん」の誕生日にあわせて2012年3月21日に「うらちゃんのたんじょうび」を日本語、中国語、英語3ヶ国語で同時に発刊いたしました。

年間4回の発刊を通じて、「モーリーファンタジーのなかまたち」の世界観、各キャラクターの性格等を子どもたちに知ってもらい、より多くのファン作りにつなげていきます。



地域の皆さまへの取り組み

感染症予防イベントを開催しました。

当社は、「遊びを通じてお子さまの健全な育成」をサポートすることを事業目的としております。そのような中、最近のインフルエンザの流行を危惧しており、感染症の予防を促す取り組みを継続的に行ってまいりました。その活動の一環として、今年2月、うがいや手洗いの大切さをボードゲームを通じて楽しく学んでいただけるイベント「うらちゃんとゲームで学ぼう感染症予防」を6店舗で実施しました。

不足するアレルギー対応食品をお届けしました。

震災の後、被災地では必要な商品の一部が入手できない状態が続いておりました。そうした中、イオンがトップパリュ商品の製造などにあたり指導をいただいている「食物アレルギーの子を持つ親の会」から、福島県でアレルギー対応食品が不足しているとの連絡があり、急遽、同会からアレルギー対応食品が送られることになり、保健所へのお届けの依頼を受けました。当社も、自宅待機を余儀なくされている子どもたちに、お絵かき帳やクレヨン、折紙などをお届けしました。

社会福祉施設の子どもの無料招待会を実施しました。

全国各地域で、社会福祉施設の子どもたちをお店に招待し、さまざまなゲームを楽しんでいただいています。
(第16期末実績：150店舗／236回)



会社概要 (2012年2月20日現在)

商号	株式会社イオンファンタジー		
本社所在地	〒261-8504 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1 TEL:043-212-6203 FAX:043-212-6840		
ホームページ	http://www.fantasy.co.jp/		
設立	1969年10月(実質上の設立1997年2月)		
資本金	17億4,713万9千円		
事業内容	遊技場の経営・フランチャイズ業務		
従業員数	160(2,937)名 ※カック内は、パートタイマー・アルバイト(1日8時間換算)の人数です。		
店舗数	319店舗(直営316店舗、フランチャイズ3店舗)		
役員	代表取締役社長	土谷美津子	
(2012年 5月15日現在)	専務取締役	林克己	
	常務取締役	片岡尚	
	取締役	出口毅	
	取締役	高橋光男	
	取締役	新田悟	
	取締役	田村純宏	
	取締役	木下裕晴	
	常勤監査役	茂呂正行	
	監査役	桑原悦朗	
	監査役	人見信男	
	監査役	岩瀬真悟	

株式状況 (2012年2月20日現在)

会社が発行する株式の総数	50,000,000 株
発行済株式の総数	18,175,688 株
株主数	9,328 名

大株主(上位10名)	当社への出資状況	
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	11,373	62.73
ビービーエイチ ファイデリティ ロープライズド ストック ファンド	550	3.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	542	2.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	507	2.79
ザバンク オブ ニューヨーク ージャスディック トリーティー アカウト	133	0.73
マックスバリュ西日本株式会社	114	0.63
ミニストップ株式会社	114	0.63
イオンクレジットサービス株式会社	114	0.63
イオンモール株式会社	114	0.63
イオン九州株式会社	114	0.63

(注) 持株比率は自己株式(46,196株)を控除して計算しております。



ホームページ(IR)のご案内

<http://www.fantasy.co.jp/company/ir>

決算・財務資料やニュースリリース、株主優待制度などについての情報提供を行うほか、決算説明会の模様を映像で紹介しています。ぜひ、ご活用ください。



株主優待制度のお知らせ

株主の皆さまにご利用いただきやすい優待制度を設けています。
魅力ある株主優待を、ファミリーでご利用ください。

ご所有株式数100株以上1,000株未満の株主さまに

特典1 3,000円相当の株主ご優待券を進呈

店内で株主ご優待券をご提示いただくと、1年間で3,000円相当のメダル、メダルガラボンイベント、スポーツゲーム、体感ゲーム、カーニバルゲーム（景品なし）、定置乗り物、メリーゴーランド※、ボールプール※、ファンタジースキッズガーデン※、ファンタジーキッズーナ※、わいわいパーク※、きぼっと※がご利用できます。

※一部設置していない店舗もあります。

特典2 「魚沼産コシヒカリ新米3kg」の進呈

※新米については、本年10月下旬前後の発送を予定しています。

株主メモ

事業年度	毎月3月1日から翌年2月末日まで
基準日	2月末日（そのほか必要ある場合は、あらかじめご告知いたします）
定時株主総会	5月
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 当社の公告はホームページ(http://www.fantasy.co.jp/)に掲載いたします。

ご所有株式数1,000株以上の株主さまに

特典1 6,000円相当の株主ご優待券を進呈


店内で株主ご優待券をご提示いただくと、1年間で6,000円相当のメダル、メダルガラボンイベント、スポーツゲーム、体感ゲーム、カーニバルゲーム（景品なし）、定置乗り物、メリーゴーランド※、ボールプール※、ファンタジースキッズガーデン※、ファンタジーキッズーナ※、わいわいパーク※、きぼっと※がご利用できます。

※一部設置していない店舗もあります。

特典2 「魚沼産コシヒカリ新米5kg」 または「胡蝶蘭」の進呈

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
電話照会先	☎ 0120-782-031
上場市場	東京証券取引所市場第一部（証券コード：4343）

© R.Hamada / AEON Fantasy Co.,LTD.

 木を植えています
私たちはイオンです



UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。